

## 平成23年10月11日定例経営会議（要約）

（平成23年10月11日 午前9時30分～12時00分）

### 新たな創造 変化に対応

#### I 開会 ～ 市長あいさつ

市議会9月定例会が4日に終了した。尽力に感謝する。同日、教育委員会では飲酒運転・ひき逃げによる職員の懲戒免職処分決定発表を行い、マスコミ各紙に掲載された。公務員の不祥事については社会的な見方も厳しく、当市では今年に入り3度の不祥事が続いているが、「市役所は何をしているのか」と厳しく問われる内容である。各部長が職員全員を把握することに難しさはあるが、各課長を督励して職員の問題の把握に努めていただきたい。何らかの問題を抱える職員に対しては、職場で相談できるような雰囲気醸成することが、遠回りに思えるが組織として大事なことであろう。

5日、「防災会議」が開催された。事務局からも私からも話したが、地域防災計画の見直しを進めており、再度、各所管でも関連する内容のチェックをお願いしたい。

6日、「東京都住宅政策審議会」に市長会の選出により参加してきた。内容は、現在東京都で進めている住宅マスタープランの見直し作業に関連した、新たな住宅政策の中間のまとめであった。今回の震災を受け様々な課題が提起されている中で、当市にとって最も影響が大きいと考えられるのが都営住宅であるが、都は入居方法等を現状と比較して、より柔軟にしたいとの考えである。一度入居すると長期にわたって居住することになるため、公平性を担保できるよう調整が必要であると考えている。もう一点、「住宅のセーフティネットとしての都営住宅・公共住宅」との姿勢がより鮮明に打ち出されていた。住宅困窮者や経済的に困窮している低所得層を重視し、生活保護等、他制度との関連において、今後の都営住宅の入居方法を見直していくとのことである。住宅施策として東京都がこれらを行うのはたいへん結構なことであるが、都内の各区市町村間で都営住宅が不均衡に配置されているのが実状である。都の住宅施策により区市町村の財政が大きな影響を蒙る場合、総合交付金で担保するなど、何らかの対応を講じてもらわなければ、現状では全面負担は難しいと考える。後ほど時間があれば意見等をいただきたい。

同日、予算編成会議を行った。重複するのでここでは繰り返さないが、会議で話された内容を遵守して予算要求をお願いする。

8日、「東京都消防総合大会」が開催された。東村山市消防団を代表して第4分団が参加し、見事な総合演技で第3位となった。たいへん心強く感じた。今回の出場にあたっては、第4分団として出場されなかった方も加わり、60回以上の訓練を積み重ねてこられた。大震災後の多忙な中、防災安全課とも連携して訓練に対応していただき感謝に絶えない。どの分団が出場するかは未定であるが5年後にも開催される。今回の結果に関しても、市報等を通じて広く市民に周知をお願いしたい。

9日、「市民大運動会」が開催された。教育部はご苦労さまであった。私の地元でもある萩山町が優勝した。また、たいへん盛会であり、スポーツを通じて地域の方々が絆を結ぶ機会として、あらためて運動会が果たす役割の大きさを実感した次第である。

最後に提案である。昨日、久しぶりに予定が入らなかったため都心へ向かい巣鴨を訪れた。ご存じのとおり、巣鴨のとげぬき地蔵、地蔵通り商店街は「おばあちゃんの竹下通り」と言われ賑わっており、夕方の遅い時間帯であったが多くの人通りがあった。また、ご当地のゆるキャラである「すがもん」という鴨のキャラクターの着ぐるみが歩いていた。地蔵通り商店街の入り口には、「すがもんのおしり」というコーナーが常設されていて、屋根付きのフワフワとした感触のいいもので、癒し効果が評判を呼んでいるのか、女の子がお尻に抱きついて楽しんでいる微笑ましい光景を目にした。いよいよ国体が2年後、市政施行50周年が3年後であり当市の大きなイベントが近づいている。これらも参考としながら、我がまちの活性化と賑わいの形成、まちおこしに繋げる企画等について今後議論していきたい。

## II 協議事項

### (1) 組織機構の検証について

今後も、経営会議、政策会議を中心に検討していくこととする。

### (2) 昇任選考の見直しについて

係長試験は、年齢構成比や現行制度の変化も視野に入れた上で再検討することとする。

### (3) 課長職への議会研修の実施について

10月19日(水)、9時30分～12時を予定。次長・課長職は悉皆。9月定例会での内容について説明した後、各課長6～7名、7～8グループにそれぞれ次長が入り対応策を議論する。部長、理事者は11時10分入室し、各グループの発表に対して理事者の講評をいただく。議会对応は行政運営の根幹に関わる重要事項であり、部長から会議の趣旨を各課長に伝えていただきたい。以上、実施することについて決定する。

## III 報告事項

### (1) 警視庁からの通達について(補足)

前回の経営会議で取り上げた内容である。警視庁の要請に対して、新型インフルエンザによるパンデミック(大流行)時の遺体安置場所をスポーツセンターとして報告した。そ

の後に示された東京都の新型インフルエンザ対策行動計画では、多くが医療機関での死亡を想定しており、1日当たりの火葬数を推計で約250体、これは、当市の人口割合で1日当たり3～4体と通常の体制で対応が可能である。東京都は臨時遺体安置所の設置を想定していないことから、警視庁の要請と整合が図れないため、スポーツセンターの件については撤回とする。

## (2) 権限移譲について

平成24年4月1日から施行される国から市への権限移譲に伴い、事務引継ぎ、システム整備、例規の整備、予算、人員等の課題がある。現段階で、事務移譲に関する国都からの具体的な財源措置は未定である。また、個々の法別に見ると、社会福祉法や水道法で広域的な対応や予算措置が課題となっているほか、障害者自立支援法、母子保健法では指定医師の確保が課題となっている。

## (3) 市議会12月定例会提出予定案件・所信表明事項について

所信表明事項と提出予定案件の提出を依頼する。

## (4) その他

### ・市民産業まつり

11月12・13日に第50回記念の「市民産業まつり」が開催される。市内では圏域の30周年、被災者支援ブース、警備の協力を依頼したい。2日間、半日交代で各部4～5人程度を依頼する。

### ・震災バッヂ

管理職が着用している「がんばろう☆NIPPON」の缶バッヂは、社会福祉協議会と調整し、平成24年3月11日まで着用を続ける。引き続き協力をお願いしたい。

### ・子ども手当

子ども手当は現在、つなぎ法案による対応であるが、対象者は10月中に個別通知の予定である。子ども総務課で対応する。

### ・議員出張

10月12・13日と「全国議長会フォーラム」が青森で行われ、議長以下23名が参加する。政務調査としての出張であり、議長行事のため議会事務局長が随行する。

### ・鉄道立体交差化事業

鉄道立体交差化事業の都市計画案と、環境影響調査書案が発表された。10月5・6日

に中央公民館と化成小学校で説明会が行われ、平均して約200～300名の市民が出席した。質疑応答では、反対意見だけでなく、より建設的な意見も出された。今後も全庁的な取り組みをお願いしたい。

・ **学校の周年行事**

南台小学校が10月22日に50周年、久米川東小学校が28日に30周年、第3中学校は11月1日には50周年を迎え、各校において記念式典を開催する。

**IV その他**

**(1) 自治基本条例講演会について**

本日、午後7時より中央公民館において、首都大学東京大学院の大杉覚教授をお招きし、「これからの自治・まちのかたち」と題して自治基本条例に関する講演会を実施する。全職員宛のメールでも周知しているが、各部長からも案内いただきたい。5千人の市民に無作為抽出でご案内し、176名の方から講演会、市民会議に参加の連絡があった。今回の講演会を、当市の自治基本条例づくりにおける第2のキックオフとしたい。自治基本条例は、今後の市政における最重要課題のひとつであることから、各部長も出席いただくとともに所管の職員にも周知し認識していただきたい。

**(2) 議会準備について**

平成23年度も後半戦である。様々な課題が山積しているが、引き続き適宜適切な議会対応をお願いする。

**V 閉会**

以上